

## 令和6年度 学校評価（1） 集計結果

4:よくあてはまる 3:あてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

児童 保護者 教職員

1	充実した学校生活を送っている。	3.6	3.4	3.4
2	めあてや目標に向かって粘り強くがんばっている。	3.5	3.0	3.2
3	新しいことや難しいことにチャレンジしている。	3.4	3.0	3.0
4	思いやりの気持ちが育ってきている。	3.5	3.2	3.0
5	仲間や友達と、仲よくしたり協力したりすることができる。	3.6	3.3	3.3
6	ルールやマナーを守っている。	3.4	3.2	2.5
7	場に応じたあいさつや言葉遣いができる。	3.5	3.0	2.3
8	学習内容をよく理解している。	3.5	2.9	3.1
9	家庭学習の習慣が身についている。	3.7	2.8	3.3
10	本に親しみ、よく読んでいる。	3.1	2.7	3.3
11	好き嫌いせず、何でもよく食べている。	3.2	2.9	2.5
12	運動に親しみ、体力を高めようとしている。	3.5	3.2	3.2
13	片付けや掃除、手伝いなどをしている。	3.6	2.9	3.1
14	早寝早起きや歯磨きなど、健康的な生活習慣が身に付いている。	3.5	3.0	2.9
15	安全や衛生に気をつけて過ごしている。	3.7	3.1	2.8
16	学校全体に活気があり、明るく楽しい雰囲気がある。	3.4	3.2	3.3
17	子どもの成長につながる活動が行われている。	3.4	3.2	3.2
18	児童や保護者の悩みに、親身になって対応しようとしている。	3.5	3.2	3.2
19	安全や衛生に配慮した環境づくりが行われている。		3.2	3.3
20	保護者や地域との連携を取っている。		3.2	3.1
21	学校・学級だより等での情報発信を行っている。		3.2	3.0
22	礼儀や言葉遣いに気をつけて勤務している。		3.4	3.4

### ■学校評価から見える課題と今後の対策について

#### 【項目6・7】

集団生活において、みんなが気持ちよく過ごすためのルールやマナーについて、学校では「自分のこと」として捉えることができるよう、子どもたちにいろいろな場面で機会を逃さず指導します。毎月の生活目標と連携させて集中的に課題に取り組み、指導の効果を上げていきます。

#### 【項目8・9】

宿題の提出状況からは家庭学習は概ねできているように思いますが、家庭での様子を知る保護者にとっては「もう少し頑張してほしい」という願いがあるようです。「習慣化」を図るため、主体的に取り組むための工夫を学年に応じて行い、家庭学習に楽しく取り組めるよう指導・支援していきます。

#### 【項目10】

学校では多くの子どもたちが図書室を利用し、貸出数も年々増加しています。一方、家庭では読書に向かう時間がゲームなどメディア利用の時間より少ない傾向にあるようです。読書への興味・関心が高まるような働きかけや本に向かう環境づくりなど、ご家庭と共に考えていきたいと思ひます。

#### 【項目11・14】

望ましい食生活や健康的な生活習慣について子どもの頃から理解を高めることは大切なことです。学校では、給食時間を中心とした食育の促進や家庭と連携しての「メディアコントロール」「歯磨きカレンダーへ」等の取り組みを実践していきます。

#### 【項目15】

学校の安全・衛生はそこに集う全員が意識を高めてともに作り上げることが必要となります。児童の評価は高いことから安全や衛生についての意識は高いといえますが、実際の行動にはひやりとする場面もあります。「ヒヤリ・ハット」が重大事故につながらないよう指導するとともに、家庭との連携を強化し、更に安全な行動についての指導や衛生管理の徹底を図っていききたいと思ひます。

## 令和6年度 学校評価（2） 学校関係者による評価

- 【項目7】の「場に応じたあいさつや言葉遣いができる。」については、地域の中では大変立派に挨拶をしてくれる。これからも続けてほしい。
- 子どもたちの自己評価が高くて良いと思った。【項目8～10】については、家庭での様子から評価が厳しくなる面もあると思われる。

### 【学校や地域で見かける子どもたちの様子】

（あいさつ、表情、礼儀やマナー、安全面 その他の様子）

- 学校生活で生き生きとした様子を見ることができた。何よりのことだと思う。
- 横断歩道を渡る時も礼儀やマナーが守られている。伝統であると思う。
- 元気な登下校の姿を見て安心している。

### 【教職員及び教育活動への、保護者や地域の方の考えや意見】

- 地域の行事への参加では大変お世話になった。中でも一人暮らしのお年寄りとの交流会は参加者全員が元気が出た。今後も交流の機会を大切にしたい。
- 子どもたちが先生たちとよく学んでいた。授業中も静かで安心した。

### 【喜々津東小学校に期待する地域に果たす役割】

- コロナ禍後で対処が難しいと思われることも多かったと思うが、地域の宝を大事に育てていきたい。
- このところ、コロナ禍のため地域とのつながりは十分ではなかった。学校の行事など積極的に参加できる機会を設けてほしい。
- 少子化で子どもが減り、公園等で元気に遊ぶ子どもが少なくなった。地域が活性化するためには、元気に走り回る子どもたちの姿が一番である。

## ■保護者からの御意見・要望

○年間予定や行事の予定について速やかに知らせてほしい。
→年間予定を年度初めにお知らせするようにし、下校時刻等についても早めにお知らせできるよう心がけていきます。「安心安全メール」で配信していきますので、確認のほど、よろしくお願ひします。
○学校内の危険箇所、リスクアセスメントをもっと行うべきではないか。
→安全点検を毎月実施し、校内で対応できるものは早期に修繕等、対応しています。今後も学校施設の安全について点検及び危険箇所への対応を行っていきます。
○11月の学習発表会はなくなったのは残念だった。なぜなくなったのか。
→令和6年度は、諫早市教育委員会指定の研究発表会を実施したため、11月の学習発表会は実施しませんでした。次年度は11月に授業参観を実施し、子どもたちの学習の様子を見ていただく予定です。
○運動会のリレーについて指導の徹底をしてほしい。色別対抗リレーはなぜ実施しないのか。
→色別対抗リレーについては、近年の気象状況では酷暑の中での練習となり、参加者の負担が大きいことから、実施無しとしました。リレーについての指導は運動会で実施する学年だけでなく、下学年から体育の時間等で指導を重ねていきます。